

KANOYA

BRAND

鹿屋は ブランドに なります。

かのやブランド創出プラン 概要版

「鹿屋市」そのものをブランド化し
「地域」と「モノ」の両方の
知名度や評価を高め
持続的な地域経済の発展を目指します。

CREA
TION

PLAN

プラン策定の意義

1.かのやブランドとは

かのやブランド（地域ブランド）は、鹿屋市独自の「歴史」や「文化」、「自然」、「産業」、「生活」、「人のコミュニティ」といった地域の資源や特性を、体験の「場」を通じて、思い出（記憶）と結び付けることで「訪れたい」、「交流したい」、「住みたい」、「買いたい」という気持ちを誘発する地域のイメージそのものと言えます。

■地域ブランドの定義

「地域ブランド」とは、地域経済の活性化に向けた戦略的な取組です。

地域の独自の歴史、文化、自然、産業等を踏まえた「地域そのもののイメージ」を確立・情報発信し、このイメージを通じて消費者（観光客）等に対し、「訪れたい」「交流したい」「住みたい」「買いたい」という意識を誘発します。

- 市場に対しては、個々の地域資源の競争力を底上げし、安定的な顧客満足（交流促進、物産等販売促進）の提供が可能となります。
- 地域住民に対しては、地元への郷土愛の醸成と地域産業の活性化を通じた雇用促進など、地域活性化を図ります。

※「地域ブランド」は、地域の信頼性の向上と、これに伴う個々の商品・サービスの信頼性を向上させ、地域活性化に結びつくものです。このような地域ブランドは、短期間に出来上がるものではなく、市民や事業者、自治体その他の地域の関係者など、日頃の努力の結果、徐々に構築されていくものです。

2.プラン策定の趣旨

地方を取り巻く環境は、低迷する地域経済をはじめ、少子高齢化による地域活力の低下や都市と地方の格差の広がりなど、厳しい状況が続いています。このような中、鹿屋市では、地域が自立し発展していくために、地域の資源や特性を生かした、地域経済の活性化と競争力の向上に向けた取組を進めることとしています。

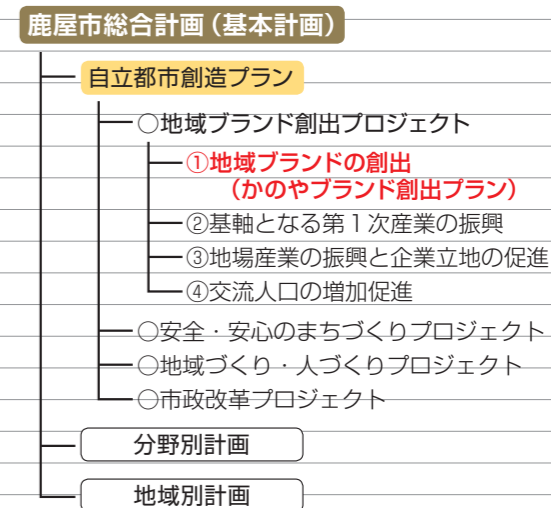
このプランは、個々の特産物等のブランド化だけでなく、地域の資源や特性を集約して、地域の新たな個性（＝地域ブランド）として創出し、これを地域全体が共有しながら、域内外に強くアピールすることにより、物産等の販売促進などによる産業振興や交流の促進など、地域経済の活性化と競争力の向上に向けた取組を推進するために策定したものです。

3.プランの位置づけ

鹿屋市における地域ブランドの取組については、平成20年4月に策定した総合計画において、前期基本計画の5年間（H20～H24）に、重点的・戦略的に推進する「自立都市創造プラン」の第一のプロジェクトである「地域ブランド創出プロジェクト」の中に、体系づけられています。

この中で「かのやブランド創出プラン」の策定は、主要な事業の一つとして位置づけています。

■総合計画における位置づけ

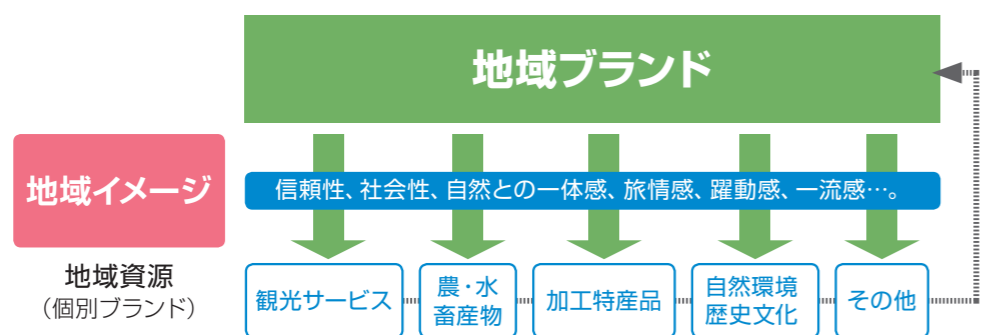


4.プランの期間

「かのやブランド創出プラン」は、総合計画の前期基本計画期間の平成24年度までに、「かのやブランド」の定着化のためのPR・周知などの情報発信の取組やブランド発信の拠点づくりなどを重点的に推進し、総合計画の後期基本計画期間の平成29年度までに、「かのやブランド」の確立を目指します。

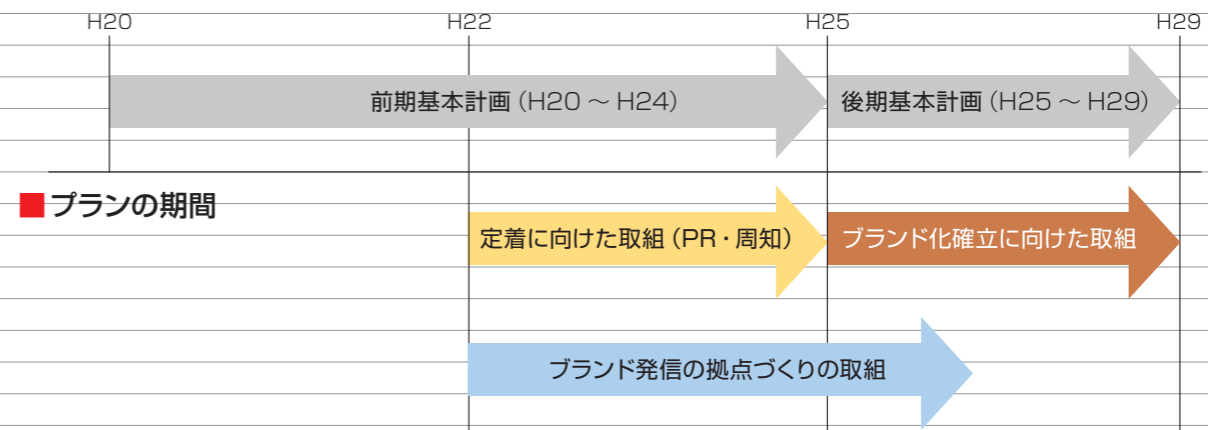


■地域ブランドの概念図

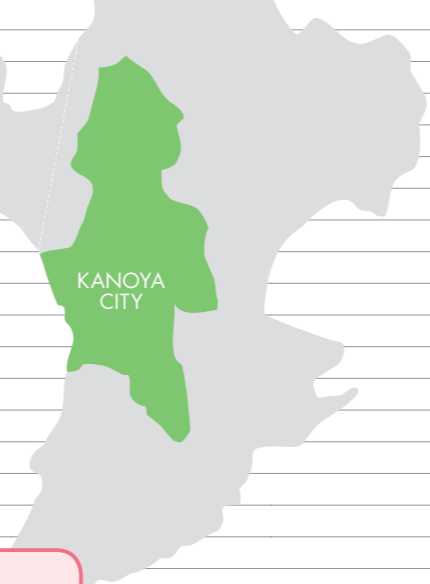


地域資源を体験した人の評価を通じて地域ブランドの評価がより高まり、地域全体のイメージを向上させ、地域活力をさらに高めていきます。

■総合計画（基本計画）の期間



「かのや」のイメージ構築



鹿屋市は、多くの資源・特性を有しており、これらを一つのイメージとして集約して具現化し、市全体で愛着や誇りを持って、共有・発信していくための「ロゴマーク、キャッチフレーズ」を作成しました。

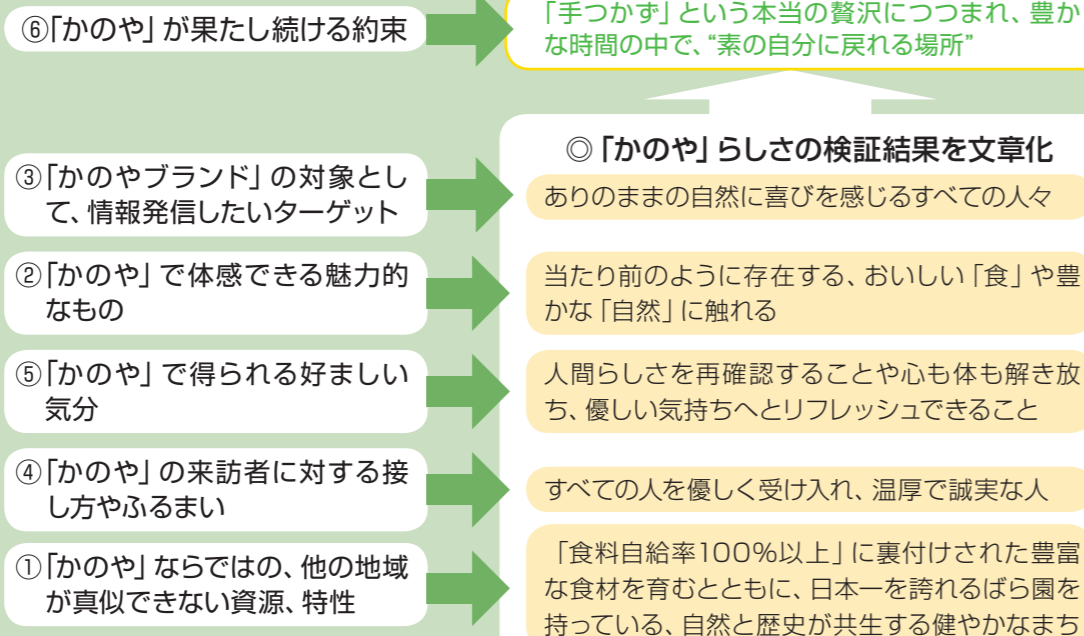
■コンセプト作成のフロー

●「かのや」らしさの検証

- アンケート調査
 - ・市民アンケート
 - ・市外居住者アンケート
 - ・都心居住者アンケート
- 市民会議での議論
 - ・鹿屋市の資源、特性について再検証（プラス、マイナスに区分し検証）
- 地域協議会の意見
 - ・鹿屋市の資源、特性についてアンケート調査を実施

要素ごとに文章化

●「かのや」らしさの集約



要素ごとに文章化したものをひとつのストーリーとして集約

Concept コンセプト

鹿屋市、それは「手つかず」という本当の贅沢につつまれ、豊かな時間の中で、“素の自分に戻れる場所”を常に約束するまち。
ありのままの自然に喜びを感じるすべての人々に、当たり前のように存在する、おいしい「食」や豊かな「自然」に触れ、人間らしさを再確認することや心も体も解き放ち、優

しい気持ちへとリフレッシュできることを提供します。また、すべての人を優しく受け入れ、温厚で誠実な人のように接します。
その背景には、「食料自給率100%以上」に裏付けされた豊富な食材を育むとともに、日本一を誇れるばら園を持っている、自然と歴史が共生する健やかなまちという事実があります。

◎ロゴマーク、キャッチフレーズ

このロゴマークを活用し、地域全体で共有・発信しながら、「かのやブランド」を確立していきます。



〈ロゴマーク〉

鹿屋市の象徴であるばらの花になぞらえて、図案化しました。

- 「赤」は太陽・人々の情熱
 - 「オレンジ」は果実・物産
 - 「青」は澄んだ空と水
 - 「黄」はまちの人の温かい心・希望の光
 - 「緑」は自然
- を示しています。

鹿屋市は、これら全ての要素（色）がバランスよく重なり合い、ありのままの自然が溢れる豊かなまちであり、素の自分に戻れる場所であることにちなみ、人も伸び伸びと暮らし、発展していける期待感をばらの開花に託しています。

〈キャッチフレーズ〉

あるがままに育まれた自然の豊かさ、そして、その恩恵を享受した本当の贅沢ともいえる環境で暮らす人々の温厚で誠実な人柄を合わせて、一言でストレートに言い表しており、「まっすぐ」という潔い言葉が、心も体も解き放ち、リフレッシュした気持ちになれるまちであることを力強く示します。

また、装飾や細工に頼る必要のない、鹿屋の魅力が直に伝わる期待をも託しています。

ロゴマーク、キャッチフレーズの活用方策

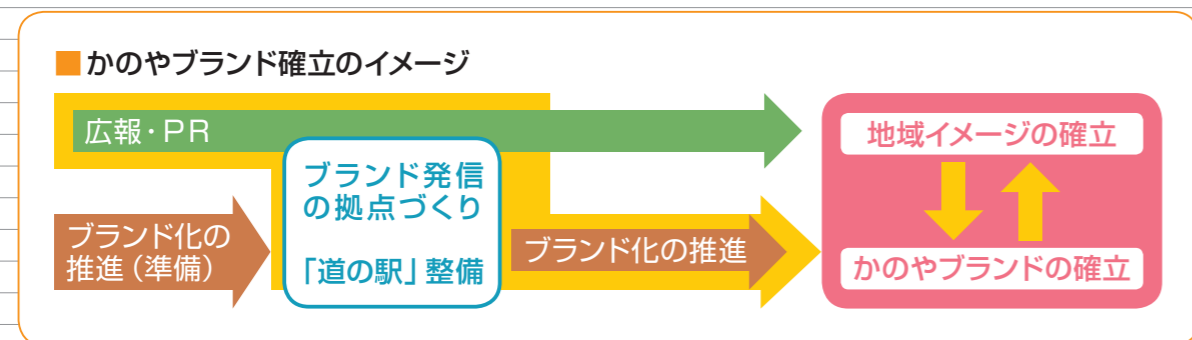
1. 基本的な考え方

「ロゴマーク、キャッチフレーズ」については、市民や地域で共有するために、まず、域内でのイベント等に活用するなど、域内向けの広報・PRを行い、「かのやブランド」の定着に向けた取組を行います。

あわせて、ブランド化の確立を推進するため、「ロゴマーク、キャッチフレーズ」の使

用基準の設定や生産・流通体制づくりを検討するとともに、「かのやブランド」の情報発信拠点となる「道の駅」の整備など、ブランド化の推進に向けた準備の取組を行います。

「道の駅」整備後は、これを拠点としたブランド化の推進の取組を、長期的に展開することとします。



2. ブランド発信の拠点づくり

●基本的な考え方

「かのやブランド」の確立に向けては、鹿屋市の資源や特性などを集約し、具現化した「ロゴマーク、キャッチフレーズ」を活用して、域内外に「かのやブランド」を積極的に情報発信し、地元特産物、サービス等のブランド化を推進し、産業振興や交流促進による地域経済の活性化につなげていく必要があります。このため、「かのやブランド」の販売や情報発信の拠点と

なる複合的な交流拠点の整備について検討することとしています。

この複合交流拠点の機能については、安全で新鮮な地域産物等の販売、これらを活用した食の提供、地域の観光やアクセス等の情報提供、地域を訪れる人々への憩いの場の提供など交流を促進し、多くの人々に「かのや」のイメージを定着させ、地域の産業振興に資することが求められます。

このような中で、「道の駅」は、観光客やドライバー等が安心して休憩でき、地域特産物の販売や観光等の情報発信機能を有する施設として、全国的に整備が進んでいます。



3. 施策の体系

ロゴマーク、キャッチフレーズの活用方策

広報・PR

- ブランドイメージ定着化の取組
 - ・行政での掲示・掲載
 - ・民間での掲示・掲載の促進
 - ・PRキャンペーンの実施 など
- 推進体制
 - ・関係機関、団体等との調整

ブランド化の推進

- ブランド化確立の取組(準備)
- ロゴマーク、キャッチフレーズの使用基準の制定の検討
 - ・農林水産業との連携(トレーサビリティ、栽培基準など)
 - ・加工、製造業との連携(原材料使用基準など)
 - ・流通、小売業等との連携(取扱品目の基準など)

- ブランド発信の拠点づくり
 - ・「道の駅」整備に関する基本方針

- ブランド化確立の取組
- 「道の駅」を拠点とした取組
 - ・特産品等の掲示による情報発信、販売促進
 - ・レストラン使用食材への表示を通じた域外との交流促進
 - ・通信販売時の画面表示による情報発信、販売促進 など
 - 民間企業等と連携した取組
 - ・旅行会社等との連携による誘客の取組に際しての使用
 - ・各種イベント実施時に使用
 - ・NPO法人等が展開するサービス時での使用 など

市民・企業・関係団体・市が一体となって、ロゴマーク、キャッチフレーズを共有し発信

かのやブランド確立

産業振興や交流人口促進による鹿屋市経済の活性化



かのやブランド創出プラン

平成22年3月発行

発行 鹿児島県 鹿屋市

編集 鹿屋市 企画財政部 企画調整課

〒893-8501 鹿児島県鹿屋市共栄町20番1号

TEL.0994-43-2111 FAX.0994-42-2001

e-mail:kikaku@e-kanoya.net